

たまごの部屋

R3.10.8

天高く馬肥ゆり秋。何でも美味しく温泉にでも行きたくなる
今日この頃です。皆様いかがお過ごしですか？

このニュースレターが届く頃には、残念ながら雨模様かもしれないが、
先日、社長が子ども頭ほどもあるケイトウの花を持って帰って
きました。そのケイトウは、自動車道入口にあるラーメン店の
向い側歩道に咲いていたものです。

歩道で土がある訳でもなく、アスファルトの割れ目から、大きな
ケイトウの花が二本、8月頃からすくすく育っていたようです。

社長はすいぶん早くから「リッぽなケイトウが咲いちゃうよ」と
言て、「種ができたらしらべらて来よ」と楽しみにしていました。
きれいに咲いているのを見事でも、種をもらって来年に繋げよう事でも
それはそれは楽しみにしていました。

義母がこの種類のケイトウが大好きで、いつも庭先に植えていたのです。

月曜日の朝1本のケイトウを持って帰ってきました。

「折らちゃめた!!」花はそのままだ放ってあったので、1本だけもらった
という事でした。かなりショックを受けていて、「まだ、種ができたん!!」
「なんでこんな事したっちゃうん!!」と怒っていました。

通勤時・仕事時、きれいだなあ〜とながめていた人もたくさんいた
と思います。悲しい、寂しい出来事でした。

まさに「自然のなせり業」という言葉の様に驚くほい美しいケイトウです。

せめて事務所に来た方にも
見てもらおうと、生花に
しました。社長もちびと
喜んでいました。

さとう



小枝にフイケイトウの花